

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として謳うことはしていない。	○ 地域密着型サービスの意義を再確認し、地域の方々に支えられている事、そして、地域の方の為のグループホームとなっていきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議の席では理念を再確認して、具体的なケアについて意見を出し合っている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族には面会時など、お会いした時に繰り返し話している。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	天気の良い日には散歩に出掛け、公園でゲートボールをしている方々や、遊んでいる子供たちにも積極的に話し掛けている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ゴミステーションの当番や、共同清掃には参加している。	○ 地域の祭りや運動会などにも参加していきたい。

グループホームあたご

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域住民を対象に認知症の理解や接し方の勉強会などの実施はしていない。	○	地域の様々な研修や会合などの参加もしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	常にサービスの向上に努めようと前回の外部評価や市の実地指導について改善点や更に生活を向上させるように取り組んでいる。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は未だ未開催である。	○	運営推進会議の実施をしていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要以上の連絡は取っていない。	○	市職員との連携を増やしたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員への説明は機会があるときに説明している。	○	成年後見人制度についてはきちんとした研修会などに職員を出席させたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	もし、虐待行為があった場合の対応については各研修で教わった事で行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間を十分に取って説明を行っている、相談から契約に至までには幾つかの段階を踏まえ契約に繋いでいる。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	あんしん相談員を月一回派遣してもらい利用者さんの相談にのって頂いている。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月担当職員よりの月のご様子を記載し、ご家族宛に送っている。 ご家族の来訪時にはこまめに声を掛け、意見交換など行っている。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月一のおたよりで問いかけ、遠慮せずに言っ て頂ける雰囲気づくりに留意している。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員全体会議にて、意見・要望など聞くようにし、会議の度にテーマを設けている。		

グループホームあたご

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者は状況に応じた対応ができるように通常のシフトに入れていないため、職員、利用者さまの状態の変化に応じた柔軟な体制が整っている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的には職員を固定化し、顔なじみの職員によるケアを心掛けている。		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所外で開催される研修には出来るだけ多くの職員が受講できるようにバックアップ体制は整っている。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県内のグループホームネットワークに加入している。	○	他のグループホームへの見学などを積極的に行っていきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日々の日常や面談時に職員のストレスや悩みを把握するよう努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の資格取得に際しては、シフトを優遇し、取得後は本人の意向を重視しながら職場内で活かせる環境づくりに努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面談で生活状態を把握するよう努め、本人の求めていることや不安を理解しようとしている。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	過去と現在の苦労やサービスの利用状況など、これまでの経緯についてゆっくり聞くようにしている。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な相談者には、可能な限り柔軟な対応を行い、場合によっては他の事業所の相談員などにつなげるなどの対応をしている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、ご家族に事業所を見学してもらうことから始め、職員が自宅などに出向いたり、事業所での生活が安定するのを見極めて安定的な利用に移行している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の大先輩であるという考えを職員全員が共有しており、普段から利用者さまから教えて頂く場面が多い。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者さんの様子や職員の思いをきめ細かく伝えることで、家族と職員の思いが徐々に重なり、本人を支えていく為の協力関係が築ける事が多くなっている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の日頃の状態をこまめに報告・相談すると共に月まとめのお手紙を本人に書いてもらうなど関係が途切れないよう留意している。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者さんの面会や電話などは快く引き受けるようにしている。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎日のお茶の時間や食事の時間などには職員と共に同じものを食し、その際には会話にも参加して利用者さん同士の関係が円滑になるような働きかけをしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている		○	他の事業所に移った方にも、利用者さんと一緒にお会いしに行ったり、こちらにもきて頂きたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声掛けをし、把握に努めている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生涯独身でずっと一人暮らしをしてきた方も数人おられるので、家族だけではわからない情報などは友人などからも聞くようにしている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ADLや心理面の視点や、できないことよりもできることに注目し、その人自身を全体として把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している		○	職員の視点からみた業務をこなす為の介護計画ではなく、利用者さま主体の暮らしを反映した介護計画にしていきたい。

グループホームあたご

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の遂行状況、効果などを評価すると共に、職員が記録する利用者さまの状態変化や状況、家族・本人の要望に応じて見直しを行っている。		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その日の申し送り時には個別のノートに、水分・食事摂取量・排泄状況等身体的状況及び日々の暮らしの様子や本人の言葉、エピソードなどを記録している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるようにしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している		○	本人と地域との様々な接点を見出し、周辺施設への働きかけやボランティアへの協力を呼び掛けたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている		○	必要に応じて、市町村の保健師等の介護保険外の生活支援に結びつくサービスを受け入れられるよう支援していきたい。

グループホームあたご

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		○	事業所内で解決できない問題について地域包括センターと協働しながら、本人本位の支援に繋げていきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	一人ひとりの利用者さまの受診の経過、現在の受診の希望を把握して、個々に応じた病院への受診を行っている。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している		○	認知症専門医などの指示や助言なども取り入れていきたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行なえるようにしている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、頻繁に職員が見舞うようにしている。また、家族とも情報交換しながら、回復状況等速やかな退院支援に結び付けている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末に対する対応指針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。また、状態の変化があるごとに、家族の気持ちの変化や本人の思いに注意を払い、支援につなげている。		

グループホームあたご

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人の気持ちを大切にしつつ、家族と話し合い利用者が安心して終末期を過ごしていけるよう取り組んでいる。急変した場合は、直ぐに対応して頂けるよう医療機関とも密に連携を図り、対応している。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	新しい場所でも、これまでの暮らしの継続性が損なわれないように、生活環境、支援の内容、注意が必要な点について情報提供し、きめ細かい連携を心掛けている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会やミーティングの折に、職員の意識向上を図ると共に、日々の関わり方をリーダーが点検し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員側で決めたことを押し付けるような事はせず、複数の選択肢を提案して一人ひとりの利用者さまが自分の判断で決められるような場面を作っている。		

グループホームあたご

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、時間を区切った過ごし方の強制はしていない。各々の体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重し、できるだけ個別の対応を行っている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	朝の着替えなどは本人の意向できめており、職員は見守りや支援が必要な時には手伝うようにしている。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	その日のメニューは利用者さまと話し合いながら決めるようにしている。また、調理、下準備、盛り付け、片付け等も共に行い、職員と利用者さまが同じテーブルで楽しく食事できるようにしている。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	それぞれの好みを把握しており、その都度それらを楽しめるような支援をしている。また、好きなものを購入できる機会には一緒に買い物に出掛けるなどしている。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間・習慣を把握し、トイレ誘導をする事でトイレでの排泄を促している。		

グループホームあたご

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を極力嫌がる利用者さまに対し、言葉掛けや工夫、チームプレイ等により個々に合わせた入浴支援を試みている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	外出・入浴などその日の活動状況に合わせて、夕刻からの活動時間を考慮し、安息できるような支援をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえるよう、お願いできそうな事を依頼し、感謝の言葉を伝えるようにしている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の理解・協力を得て、少額の金銭を持っている方もいる。外出のときなど、自分でお金を払う時には自分のお金で払って頂くことをしている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気、本人の気分や希望に応じて、季節を肌で感じてもらい、心身の活性に繋がるよう日常的に散歩・買い物などに出掛けている。		

グループホームあたご

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	～に行きたい・～に帰ってみたいなどの利用者さまの思いが出された時には、実現される為の方策を職員間で検討し、支援に繋げている。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば、各部屋で電話してもらえるよう支援している。手紙やハガキを出したいという利用者さまには一緒に書いたりしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の時間などの制限は特に設けていない。重ねて、面会に訪れやすい雰囲気作りを心掛けている。	○	気兼ねなく過ごして頂けるような訪問者スペースを整え、居心地の良い空間づくりをしていきたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	実地指導等で認識している権利擁護や身体拘束に関する勉強会を事業所の中で実施し、職員の共有認識を図っている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の見守り方法を徹底し、また、一人ひとりのその日の気分や状態をきめ細かくキャッチすることで、日中は鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。		

グループホームあたご

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜共に職員が利用者を見守りやすい位置にいて、利用者さまの様子を常に察知できるようにしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者さまの状況に合わせて、注意が必要な物品は何かを職員で把握し、管理方法を決めている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書などの徹底や報告、共有事項を整理・保存され、それをもとに事故防止策を具体的に検討している。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている		○	けが、骨折、発作、誤嚥等の緊急時の対処方法、救急救命法の学習を行いたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年1回利用者さまと共に避難訓練を行っている。県職員の協力もお願いしている。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個々に起こりうるリスクに対して、把握しており、ご家族さま等に対して対応策を説明している。		

グループホームあたご

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の状況を十分把握しており、食欲減退や顔色などの様子の変化が見られた時にはバイタルチェックを行い、変化時の記録をつけている。場合によっては医療受診に繋げている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方や用量が変更されたり、本人の状態変化がみられるときは、より詳細な記録をとるようにし、看護師や医師などの連携を図るようにしている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防に向けて、食事はもちろんおやつも含めて、食材やメニューの工夫をしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きの声掛けを行い、力に応じて職員が見守ったり、介助を行っている。就寝前は義歯の洗浄を行っている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を大まかに把握、チェックしている。栄養士の職員からも指導を仰いでいる。		

グループホームあたご

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関して情報収集を行い、取り決めを作り、早期発見、早期対応に努めている。また、本人・ご家族の同意を得て、職員共にインフルエンザの予防接種を受けている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具・キッチン回りの清潔・衛生を保つよう実行している。	○	食材の在庫表を作成したり、冷蔵庫の整理日を決める等行いたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るい雰囲気 of 玄関になるように、花を植えたりしている。冬期には凍ることもあり、危険な状態になるので、安全対策を施している。	○	利用者や訪ねる人の視点で、事業所に入りやすい配慮をしたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	みんなで作った作成物などを飾ったり、視覚でも楽しめるような空間づくりを心掛けている。	○	職員の感覚や好みで一方的に決めてしまわずに、利用者さまやご家族などの意見も取り入れた空間作りに取り組みたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テラスにてお茶を飲んだり、日向ぼっこをしたりと出来るスペースがある。	○	個々の部屋以外に一人になれるようなスペースがないので、取り入れたい。

グループホームあたご

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的に持ち込んではいけないものではなく、写真や使い慣れた日用品が泊まりの部屋に持ち込まれ、利用者さまの居心地のよさに配慮している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気や温度調節には気を配り、温湿度計にて適宜対応している。また、外気との温度差にも注意し、その都度調整している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	身体機能の変化に考慮し、利用者さまの現在の状態に応じて生活環境の改善に取り組んでいる。	○	民家改修型ということもあり、段差解消・手摺の未設置などがあるので、具体的な対応をしたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	目印等はただ表示するのではなく、本人の状態を把握し、必要な物を見極めながら馴染みの物を活かす等、それぞれに合わせた工夫を行っている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外に花を植えたり、畑を確保して共に楽しみながら活動できるような環境を作っている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

Ⅴ. サービスの成果に関する項目				
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に○をつけること)		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の	
			②利用者の2/3くらいの	
			③利用者の1/3くらいの	
			④ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある	
			②数日に1回程度ある	
			③たまにある	
			④ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と	
			②家族の2/3くらいと	
			③家族の1/3くらいと	
			④ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように	
			②数日に1回程度	
			③たまに	
		○	④ほとんどない	

グループホームあたご

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に○をつけること)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
		○	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)